

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
プロダクトデザイン科											
プロダクトデザイン実習 1											
対象	1年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	袴田哲郎			実務経験	有	職種	プロダクトデザイナー				
授業概要											
製図用具の使い方、投影図・三面図など図学の基礎を学ぶ。立体デザインにおける基本のコミュニケーション手段であり、1年次後期以降のCAD授業の理解に深く関わるためしっかりと知識として定着させることを目的とする。											
到達目標											
製図法の基礎を習得できること。製図用具を正しく使い丁寧に製図できること。目的とする物体を第三角法で紙面に表現できること。製図に関する規格に従って製作図を正しく読むことができること。実技課題や定期試験対策の取組み姿勢、提出期限を守るなど受講生としてのマナーを養う。											
授業方法											
図面は、あらゆる立体デザインおよび工業分野で用いられ、設計者の意思を製作者に正確に伝えるとても重要な働きを持っている。製図規格を理解し図面を正しく読み、製図用具を正しく使用して、線の種類を明確に区別し、必要事項の記入漏れがないよう、正確、丁寧に図面を描くように心がけること。この授業での図面知識が1年次後期以降で学ぶCADのスキルに直結するので遅れが出ないように授業を受ける。											
成績評価方法											
課題完成度90% 提出課題の完成度を評価する。 平常点10% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。											
履修上の注意											
授業に必要な教科書や製図道具がない場合、受講することができない。提出課題は、期限を厳守。忘れ物、課題の遅滞や未提出には、厳しく対応する。特に課題については、粗雑・不備がある・期限内に提出されない場合、評価の対象外となり単位を認めない。やむを得ず欠席した場合、すぐに担当教員か補助員に相談し授業の流れに遅れないよう注意すること。授業時限数の3/4以上出席しない者、未提出課題がある者は不合格とする。											
教科書教材											
教科書：なし 材料：適宜配布または各自用意											
回数	授業計画										
第1回	ガイダンス 図面の役割・図面の必要条件 「3製図法」										
第2回	線の種類と用法 図面の構成要素										
第3回	投影法の種類「2図形の表し方」投影図法を理解する。実際に描いてみる。										

2020年度 日本工学院八王子専門学校

プロダクトデザイン科

プロダクトデザイン実習 1

第4回	三面図とアイソメトリック図法1
第5回	三面図とアイソメトリック図法2
第6回	図面の配置と正面図の選択
第7回	寸法記入法（寸法線・寸法数字・留意点、その他）
第8回	断面図、R指示。実際に描く。ボルト、ナット各自現物を用意し、理解。
第9回	Rのついた直方体の図面を描いてみる。Rと直線のつながりを美しく表現する。
第10回	スマートホンの作図1
第11回	スマートホンの作図2
第12回	スマートホンの作図3：図面完成
第13回	一点透視図基礎
第14回	二点透視図基礎
第15回	期末試験